

慢性副鼻腔炎等で鼻の手術を受けられる患者様へ

慢性副鼻腔炎(ESS)パス【20004-01】
No1

患者氏名： 様 入院病棟： 病棟 主治医： 受け持ち看護師：

	/	/	/	/	/	/
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
	入院日	手術日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	退院
目標 毎日看護師と評価します	□治療の内容がわかる					
	□入院生活、手術についてわかる □体温が正常である（37度以下）	□創部に問題がない（処置を要する出血がない） □必要な時は痛み止めの薬を使用し、痛みが軽減する				□退院後の生活の注意点についてわかる
		□血圧が安定している □発熱がない（39度以下）				
		□安静が守られる ・シャワー浴ができる				
内服注射		・抗生剤の点滴があります	・抗生剤の内服が開始になります			
検査		・検温（1日3回）	・検温（1日3回） ・朝に採血をします	・検温（1日3回）	・検温（1日1回）	
治療処置	・主治医から手術について説明があります ・麻酔科医、手術室看護師がお部屋に伺います	・手術室は4階です ・看護師と歩いて手術室に入ります	・回診後より鼻の綿球交換が可能です		・回診後、鼻洗浄が開始になります 1日2回（6時～8時）（19時～21時）	
食事飲水	・絶飲食の時間をお伝えします	・手術後は許可が出たら、飲食ができるようになります ・食事はお粥がです 明日以降もお粥を希望される方はお知らせください	・術後1日目より米飯に戻ります 退院基準： 退院後の生活の注意点がわかる 創部から出血がない			
清潔	・浴室使用時間については看護師からお伝えします	・タオルで身体を拭きます		・シャワー浴ができます		
排泄	・便秘で力むことは出血の恐れがありますので便通を整えるようにしましょう ※必要に応じて下剤などを使用することができるので相談してください					
安静活動	・院内自由です	・手術後、止血効果を得るためにベッドの頭側は35度から40度にあげて、過ごしていただきます ・トイレ、洗面以外はお部屋で過ごしましょう	・出血がなければ院内自由です			
説明指導	《手術後》 ★唾液に血液が混入している場合は飲み込まずにティッシュで拭き取りましょう ★手術後は鼻に止血剤が入っています ・口の中に止血剤がとけてドロツとしたものが落ちてくる時があります。 ・負担をかけないようにやさしくうがいをしましょう ★鼻の綿球について ・手術当日は綿球交換は行いません。鼻腔の外に血液が流れてきたら、綿球をとらずに看護師にお知らせください ・手術翌日、医師の診察後よりご自身で綿球を交換していただきます。汚れてきたら交換しましょう ★痛みがある時は、鎮痛剤がありますので看護師にお知らせください ★手術後は麻酔時に使用する管の影響でのが痛くなることがあります。また、口呼吸となり、特に朝は乾燥によるのどの痛み強く感じる場合があります。うがいや乾燥予防のためにマスクをつけたり濡れタオルを干したりすると少し痛みが楽になります ※ご希望があれば加湿器を設置します ★シャワー浴は医師の許可が出てからになりますが、シャンプーをする際はなるべく顔を上げて行いましょう（頭を下げると出血しやすくなります）					【退院後の生活について】 ★指示があるまで綿球は鼻内の創部乾燥予防の為に継続します ★職場や学校への復帰については主治医と相談しましょう ★退院後は次回の外来受診まで力仕事や激しい運は避けてください ★鼻かみは厳禁です ★飲酒は控えてください ★熱い湯に長時間入ると出血しやすいため注意してください ★温泉やプールは控えてください

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります